

ジャニーズ問題とマスコミについて

氏名利根川吏玖

この卒業論文は、ジャニーズ事務所の創業者ジャニー喜多川による性加害問題を通じて、日本社会やメディアの構造的課題を明らかにしようとしています。特に、日本の主要メディアが長年この問題を黙殺してきた背景を検討し、BBC による国際的な報道がどのように問題解決を促進したかを分析します。また、被害者救済や再発防止に向けた具体的な提言を提示することを目指しています。

ジャニーズ事務所は 2023 年に「SMILE-UP.」へ社名を変更し、性加害問題への補償を専門に行う体制を整える一方、新たなタレントマネジメント会社「STARTO ENTERTAINMENT」を設立しました。しかし、ジャニー喜多川の長年にわたる性加害行為が、未成年者を含む数百人に影響を及ぼし、それが事務所の権威と結びつき、業界やメディアに与えた影響は深刻です。この背景には、メディアとの癒着や、権力者へのチェック機能の欠如が存在していました。

本論文は、性加害問題を取り巻く社会的・文化的背景を掘り下げ、芸能界全体の再発防止策と被害者救済のための提言を示しています。透明性の確保、外部監視機関の設置、未成年タレントへの教育など、具体的な施策を提案することで、性加害の再発を防ぐとともに、被害者への支援が実現する社会の構築を目指しています。